

デジタル庁 御中

# 令和7年度GビズIDの民間サービス連携

---

公開資料

2026年3月25日

TOPPANエッジ株式会社

# 実証概要

GビズIDの民間活用可能性について、複数事業者へヒアリングを実施。  
 また、GビズID連携したプロトタイプ構築し、情報取得・活用についてテスト運用

## 実証目的

GビズIDの民間サービスとの連携に関するシステム面及び制度面の課題を抽出し、今後の制度設計等に資する検討に繋げる

## 想定ユースケース

### 想定シーン

企業間取引における

新規契約

諸届変更

継続的顧客管理

### 期待効果

GビズID活用により

トラスト強化

手続き時間の削減

審査時間等の削減

## 実証内容

GビズIDの  
民間活用  
可能性の  
検証

- 想定ユースケースに関連する、民間事業者へヒアリング実施

ヒアリング先

3業種  
6社へ  
ヒアリング

検証事項

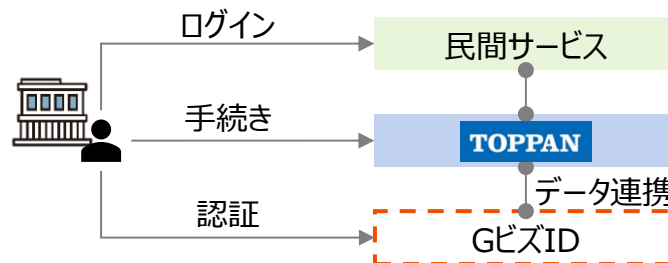
ニーズ

期待効果

活用にあたっての期待/課題

GビズID  
連携した  
民間サービス  
テスト運用

- GビズID連携による法人手続きのプロトタイプ構築し、テスト運用
- 民間事業者へモック体験を行い、ヒアリング実施



実証結果を踏まえ、  
GビズID民間開放に  
当たっての  
貴庁への要望事項を  
取り纏め

# 実証結果

項目

概要

- 各社ご多忙の中、ヒアリングに複数回ご協力いただいた（最も多いヒアリング先で4回ヒアリング実施）
- 現状の業務や、GビズID連携に向けた課題/期待など、多くのご意見をいただいた

GビズIDの  
民間活用  
可能性の  
検証

ニーズ

法人確認は  
トラスト確保の観点で意味がある

申込受付時の不備発生は  
日常的に発生しており、  
GビズIDを活用した法人情報取得は  
効果があると考える

関連する法制度も  
併せて変わる前提であれば、  
GビズIDとの連携は有効と思われる



A業種

GビズID連携の取組に対して  
期待値高く見ている

今後、どのようなスピード感で  
進行するのか気になる



B業種

C業種での活用は  
限定的なものの、  
法人確認は他業界と  
同様に実施しており、  
効果は一定見込める



C業種

期待効果

- 登記情報に紐づいた最新の法人情報の連携がなされることにより、ヒアリング先の3業種にて、業務削減効果を確認
- 入力不備の減少や、審査業務の一部省略が可能となり、業務削減につながる

活用に  
あたっての  
期待/課題

- 業界共通で、取得した情報と登記簿謄本等との一致確認を行っており、デジタル化には登記情報と紐づいた情報連携必須
- 業界共通で、GビズID活用に投資するだけの規模（利用数）が必要であり、GビズIDの普及率向上が不可欠との声
- 業界によっては法制度・ガイドライン整備が必須であり、国主導での取組を求めている
- データ連携項目の拡充（権限委任、実質的支配者）や情報の最新性実現、電子署名等、機能面の期待を求める声

GビズID連携した  
民間サービステスト運用

- GビズIDとの連携にあたり、仕様通りの動作がなされ、想定通りの情報取得・表示を確認
- 民間事業者へモックベースで体験を頂いたとき、情報取得の正常稼働を確認の上、業務削減効果がある旨の声を頂く

# 要望事項 | 一覧

分類	項目	概要
貴庁 主導	機能	① スピード感を持った法人情報取得機能の開放 認証のみでは民間事業者にとって業務削減効果が見込めず、法人情報取得機能の早期民間開放の検討を推進
		② 情報の最新性実現 GビズIDで取得した情報の真正性担保にあたり、最新性を持った情報反映の仕様検討を推進（登記情報と紐づいた法人情報連携）
		③ 権限委任情報の連携 民間事業者にて必要としている権限委任情報（取引担当者が権限保有しているかなど）行政向けの委任機能で不足していないか検討を推進
		④ 電子署名機能の実現 押印代替としての需要が見込まれる中、民間事業者の手間が少ない民間に利用される電子署名の連携方式の実装を検討
		⑤ 変更履歴連携機能の実装 法人情報変更時に、契約先の事業者が変更届を出さない事例もあり、法人情報の変更発生時にGビズIDからの変更履歴連携機能の実装を検討
		⑥ アカウント種別ごとの権限付与機能検討 アカウント毎、もしくはアカウントに紐づく権限を企業の指揮命令系統に近い形での管理機能検討
	スキーム	⑦ 最適な民間開放のスキームの検討 GビズID接続に係る環境整備・運用などの民間事業者側の負担も考慮し、サービス提供に向けた最適な民間開放スキームの検討
	料金	⑧ トランザクション単価の検討 GビズID民間連携における期待効果（業務削減効果など）や利用数に鑑みた、適切な単価の検討及び、普及に向けた時限的な無料開放などの施策検討
		⑨ Scopeごとの単価設定 GビズID経由で取得できる情報の種類によって、民間事業者が得る便益が異なるため、Scopeに応じた料金設計を検討。特に認証のみは業務削減効果なく、無料開放を検討
民間 共同	機能	⑩ 連携すべきデータ項目の検討・連携先の模索 幅広い業界からの更なるデータ項目のニーズの声収集を行い、連携すべきデータ項目及び連携先を検討
	推進	⑪ GビズID活用の法的根拠の明確化 業界によってはGビズID利用に向け解決不可欠な法制度・ガイドラインの整備の推進
		⑫ GビズIDの普及に向けた推進活動 GビズIDの普及率が民間事業者の便益に直結するため、官民双方でGビズIDの利用・普及推進活動実施
		⑬ GビズID活用可能性の更なる広がり検討 本実証にてヒアリング実施した先以外のGビズID活用可能性を整理する取組を推進

すべてを突破する。

**TOPPA!!!**  
**TOPPAN**